

平成30年度 当初予算の概要



大阪府 茨木市

平成 30 年度 予算 総括 表

(単位：千円・%)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	
			増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	86,850,000	88,880,000	△2,030,000	△2.3
特 別 会 計	54,364,479	61,723,682	△7,359,203	△11.9
財 産 区 会 計	5,077,271	5,155,132	△77,861	△1.5
国民健康保険事業会計	27,496,639	34,659,334	△7,162,695	△20.7
後期高齢者医療事業会計	3,809,963	3,666,225	143,738	3.9
介護保険事業会計	17,980,606	18,242,991	△262,385	△1.4
下 水 道 等 事 業 会 計	11,762,218	11,875,783	△113,565	△1.0
水 道 事 業 会 計	8,636,320	9,178,079	△541,759	△5.9
総 計	161,613,017	171,657,544	△10,044,527	△5.9

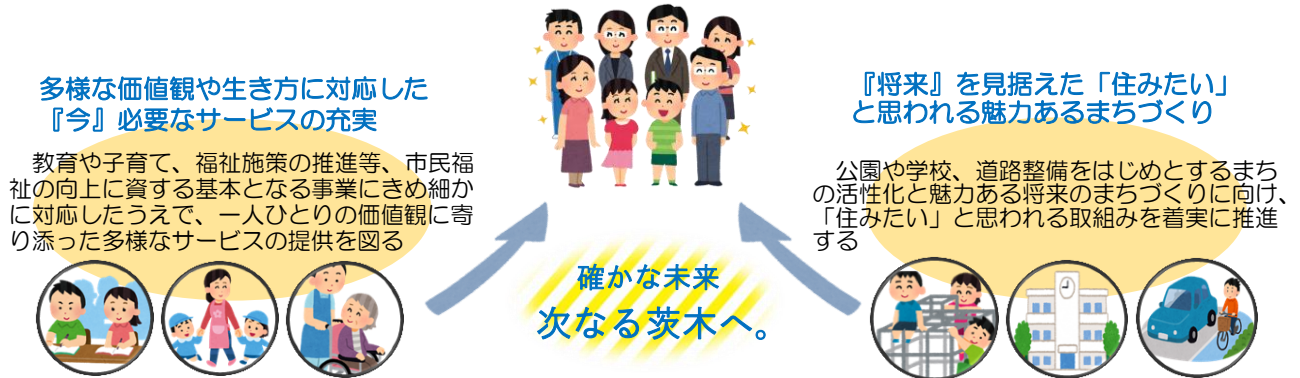
平成30年度 当初予算の概要

1 基本方針

確かな未来あるまちづくり

“次なる茨木”の実現に向けた取組みを推進

平成30年度は、市制施行70周年を機に、まちの発展に力を尽くしてこられた方々に敬意を表するとともに、まちの魅力を市内外に発信しつつ、教育や子育て、福祉施策の推進等、多様な価値観に対応した『今』必要なサービスの充実と『将来』を見据えた住みたいと思われる魅力あるまちづくりの実現に向けた取組みを推進する予算を編成。



2 主な内容

1 まちづくり

みんながいきる

人と自然が共生する持続可能なまちに

- ・次なる茨木・ランドデザインの推進 [40万円]
- ・元茨木川緑地リ・デザイン計画の策定 [599万円]
- ・市民会館跡地エリア活用基本計画の策定等 [2,367万円]
- ・高齢者の運転免許証自主返納促進 [900万円]

2 教育

らしさをいかす

次代の茨木を担う人を育むまちに

- ・外国語指導講師による英語教育の充実 [2,462万円]
- ・訪問型病児・病後児保育利用料補助金の創設 [92万円]
- ・ユースプラザ事業の実施 [4,205万円]
- ・小中学校トイレ洋式化の推進 [1,500万円]

3 福祉

いのちを守る

ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに

- ・合理的配慮の提供支援助成金の創設 [300万円]
- ・高齢者・重度障害者福祉タクシー利用料金助成の拡充 [525万円]
- ・認知症高齢者グループホーム利用負担軽減補助の実施 [1,556万円]
- ・「地域医療支援病院」の施設整備等補助金の創設 [5,000万円]

4 経済

活気あふれる

都市活力があふれる心豊かで快適なまちに

- ・市制施行70周年記念式典の開催 [2,165万円]
- ・川端康成青春文学賞の創設 [764万円]
- ・就学前親子対象アートイベントの実施 [50万円]
- ・いばらき おいもグルメフェアの開催 [327万円]

5 安全

いざ、に備える

ともに備え命と暮らしを守るまちに

- ・一時避難地を活用した防災訓練の実施 [438万円]
- ・指定避難所運営マニュアルの作成 [92万円]
- ・高機能消防総合情報システムの整備 [5億9,850万円]

6 対話

議論を重ねる

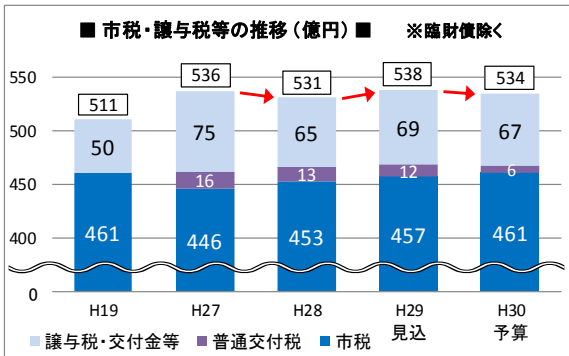
対話重視で公平公正な市政運営

- ・未来のいばらきコンテストの実施 [384万円]
- ・公共施設構造体耐久性調査の実施 [2,452万円]
- ・総合窓口の導入検討 [992万円]

3 市税等の一般財源、社会福祉経費、市債残高の状況

※各図のH29見込は3月補正時点の見込数値

1 税等一般財源

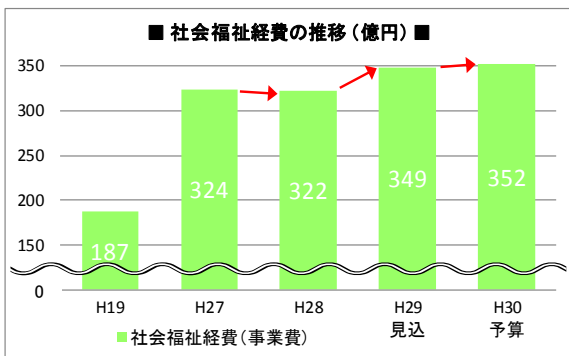


市税収入は、新規宅地化等に伴い、固定資産税や都市計画税が約4億円増収となることを見込む。

一方で、譲与税・交付金では、地方消費税交付金の清算基準の見直し等に伴い約2億円減収することに加え、普通交付税についても、税収の伸び等により前年度と比較し約6億円の減収を見込む。

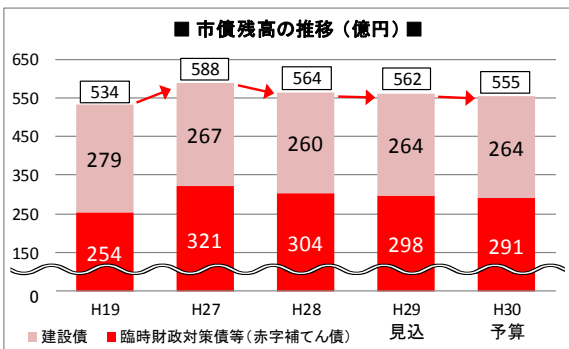
市税、交付税、譲与税・交付金等をあわせた税等一般財源の総額は、前年度と比べて約4億円減の534億円となるものと見込む。

2 社会福祉経費と市債(借金)残高



社会福祉経費は、国民健康保険事業の都道府県単位化に伴い特別会計への繰出金が減額となるものの、障害福祉や保育サービス等に係る扶助費が増加することに加え、高齢化の進展により後期高齢者の療養給付に係る負担金も増加する見込であることから、総額は前年度と比べて3億円増額するものと見込む。

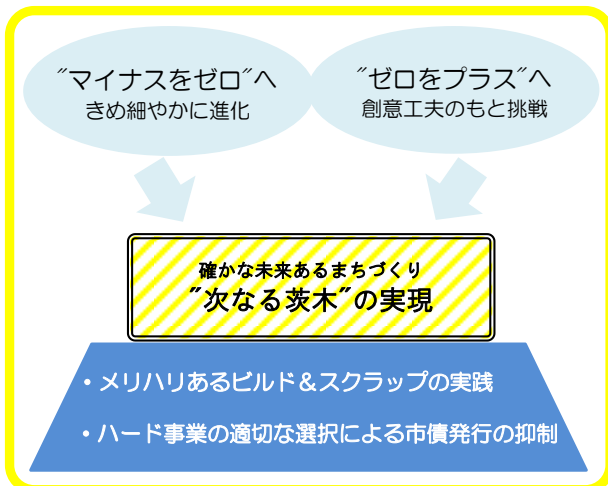
※社会福祉経費：扶助費、国保・介護・後期高齢繰出金、後期高齢者療養給付費負担金の合計



市債(借金)は、「将来」のまちづくりのために借入れる建設債を21億円、交付税の不足分を補うための臨時財政対策債(赤字補てん債)の借入を18億円見込むが、償還元金(公債費)が46億円であることから市債残高は減少するものと見込む。

※赤字補てん債：交付税制度における地方の一般財源の減収分を補うために発行する市債(臨時財政対策債等)

3 まちの持続的発展を支える財政健全化の取組み



平成30年度は、税等一般財源が減となることに加え、社会福祉経費や公債費が増加する厳しい財政状況の中、引き続き、まちの持続的発展を支える「財政の健全性」を確保する取組みとして、「ビルド&スクラップの実践」と「市債発行の抑制」に取り組んできたことにより、確かな未来あるまちづくり“次なる茨木”の実現に向けた予算を編成した。

「財政の健全性」を確保する取組みについては、今後も不断の取組みとして実践していく。

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

4 予算総額と歳入歳出の内容 [一般会計]

1 予算総額

868.5億円

[対前年度20.3億円減(2.3%減) 平成29年度当初予算888.8億円]

2 主な歳入の状況

項目	H30予算	H29予算	H30-H29	主な増減内容
市 税	461.3億円	458.6億円	2.7億円	前年当初予算比 0.6%増 固定資産 3.8億円 都市計画 0.7億円 市たばこ税 △0.9億円 法人市民 △0.7億円
譲与税・交付金	64.9億円	62.5億円	2.4億円	株式等譲渡所得割交付金 1.8億円 配当割交付金 0.5億円
地方交付税	7.9億円	13.4億円	△5.5億円	普通交付税 △5.2億円、特別交付税 △0.3億円
国庫支出金	171.8億円	172.4億円	△0.6億円	臨時福祉給付金給付事業費補助金 △6.7億円 社会資本整備総合交付金 △4.7億円 保育所等整備交付金 8.6億円 障害者介護給付費等負担金 1.7億円
府支出金	69.0億円	67.9億円	1.1億円	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 1.7億円 重度障害者医療費補助金 1.2億円 障害者介護給付費等負担金 0.9億円 施設型給付費負担金 0.7億円 安心こども基金特別対策事業費補助金 △3.5億円
諸 収 入	28.6億円	32.9億円	△4.3億円	ダム関連道路整備負担金 △2.4億円 新名神関係助成金収入 △0.9億円
市 債 (借換債除いた額)	38.7億円 (38.7億円)	55.8億円 (48.2億円)	△17.1億円 (△9.5億円)	
赤字補てん債 (臨時財政対策債)	17.4億円	21.8億円	△4.4億円	通常分 0.5億円 借換分 △4.9億円
建設債	21.3億円	34.0億円	△12.7億円	通常分 △10.0億円 借換分 △2.7億円

3 主な歳出の状況

項目	H30予算	H29予算	H30-H29	主な増減内容
人 件 費	148.0億円	145.9億円	2.1億円	給料 △0.1億円 職手 1.4億円 (退手0.5、期末勤勉0.7、管理職手0.1) 共済費 0.8億円
物 件 費	172.8億円	165.1億円	7.7億円	庁内システム全体最適化 4.3億円 小中学校PC使用料 0.7億円 外国人語学指導助手委託 0.3億円 小規模保育施設保育士賃金 0.3億円
扶 助 費	272.4億円	266.4億円	6.0億円	介護給付費・訓練等給付費 3.6億円 施設型給付費負担金 3.4億円 重度障害者医療費 2.8億円 老人医療費 △3.0億円
補 助 費 等	67.6億円	73.6億円	△6.0億円	臨時福祉給付金 △6.7億円 企業立地促進奨励金 △0.6億円 地域医療支援病院補助金 0.5億円
投資的経費	68.6億円	81.1億円	△12.5億円	JR総持寺駅周辺整備事業 △9.2億円 茨木松ヶ本線整備事業 △4.4億円 道路新設・改良事業(単独分) △3.4億円 私立保育所等建設補助事業 6.9億円
繰 出 金	77.7億円	89.7億円	△12.0億円	国民健康保険特別会計 △8.1億円 下水道等事業会計 △3.6億円 介護保険特別会計 △0.4億円 後期高齢者医療特別会計 0.2億円
公 債 費 (借換債除いた額)	50.8億円 (50.8億円)	56.5億円 (48.9億円)	△5.7億円 (1.9億円)	元金 △4.9億円 利子 △0.8億円

平成30年度一般会計予算総括表

(歳入)

(単位:千円・%)

款	予算額	左 の 内 訳		備 考	
		特定財源	一般財源		
1 市 税	46,130,000		46,130,000	前年度予算額 (対前年度0.6%)	45,860,000
2 地方譲与税	500,000		500,000	前年度予算額 (対前年度6.4%)	470,000
3 利子割交付金	90,000		90,000	前年度予算額 (対前年度50%)	60,000
4 配当割交付金	280,000		280,000	前年度予算額 (対前年度21.7%)	230,000
株式等譲渡 5 所得割交付金	330,000		330,000	前年度予算額 (対前年度120%)	150,000
6 地方消費税 交付金	4,690,000		4,690,000	前年度予算額 (対前年度△2.3%)	4,800,000
7 ゴルフ場利用税 交付金	84,000		84,000	前年度予算額 (対前年度2.4%)	82,000
8 自動車取得税 交付金	240,000		240,000	前年度予算額 (対前年度20%)	200,000
9 地方特例交付金	230,000		230,000	前年度予算額 (対前年度10%)	209,000
10 地方交付税	790,000		790,000	普通交付税 特別交付税	560,000 230,000
11 交通安全対策 特別交付金	43,000		43,000	前年度予算額 (対前年度△8.5%)	47,000
12 分担金及び 負担金	460,680	460,680		私立保育所利用者負担額 バスターミナル利用分担金	438,093 11,279
13 使用料及び 手数料	1,816,800	1,478,958	337,842	廃棄物処分手数料 道路占用料	263,547 262,944
14 国庫支出金	17,184,801	17,184,801		生活保護費等負担金 児童手当等負担金	4,999,707 3,467,531
15 府支出金	6,897,724	6,897,724		保険基盤安定負担金 障害者介護給付費等負担金	1,306,600 1,080,577
16 財産収入	54,414	530	53,884	土地建物貸付収入 物品売払収入	43,336 5,343
17 寄附金	99,717	22,459	77,258	一般寄附金 保健衛生事業寄附金	77,258 8,424
18 繰入金	105,059	105,000	59	公共施設等総合管理基金 福祉事業推進基金	50,000 46,000
19 繰越金	100,000		100,000		
20 諸収入	2,855,605	2,171,397	684,208	小学校給食費 中小企業振興貸付金元金収入	802,748 350,000
21 市債	3,868,200	2,128,200	1,740,000	建設債 臨時財政対策債	2,128,200 1,740,000
合計	86,850,000	30,449,749	56,400,251		
予算比	△ 2.3	△ 6.3	0.1		

平成30年度一般会計予算総括表

(歳出)

(単位:千円・%)

款	予算額	消費的経費				投資的経費	その他の経費
		人件費	物件費	扶助費	補助費等		
1 議会費	529,950	474,504	40,844		14,602		
2 総務費	8,354,929	3,114,736	4,158,487		655,166	226,540	200,000
3 民生費	44,210,758	3,395,879	2,212,533	26,950,658	4,379,285	1,722,499	5,549,904
4 衛生費	7,193,628	1,227,751	4,519,653		426,152	760,912	259,160
5 労働費	29,009	1,922	6,003		21,084		
6 農林水産業費	397,575	205,937	80,299		43,804	67,505	30
7 商工費	1,089,501	173,595	20,115		545,791		350,000
8 土木費	6,067,631	1,527,004	1,274,896		77,545	2,988,186	200,000
9 消防費	3,090,736	2,203,012	166,881		43,472	677,371	
10 教育費	8,451,403	2,466,480	4,777,719	293,733	550,421	362,050	1,000
11 災害復旧費	85,656	12,007	18,649			55,000	
12 公債費	5,082,476						5,082,476
13 諸支出金	2,236,748				6,410		2,230,338
14 予備費	30,000						30,000
合計	86,850,000	14,802,827	17,276,079	27,244,391	6,763,732	6,860,063	13,902,908
予算比	△ 2.3	1.5	4.6	2.3	△ 8.2	△ 15.4	△ 11.3

【当初予算の主な内容】

◎はマニフェスト ☆新規ソフト事業

(単位：千円)

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
1 みんながいきる 人と自然が共生する持続可能なまちに ~まちづくり~					
中心市街地・まちづくり・空家対策					
◎☆	1	次なる茨木・グランドデザインの推進 【都市政策課】 【29頁参照】	400		400
◎	2	元茨木川緑地リ・デザイン計画の策定 【公園緑地課】 【30頁参照】	5,988		5,988
◎	3	立地適正化計画の策定 【都市政策課】	4,773	2,214	2,559
	4	広域幹線道路沿道の土地利用の推進 【都市政策課】	110,000	82,500	27,500
	5	居住マスタープランの策定 【居住政策課】	6,300		6,300
◎☆	6	空家活用支援補助金の創設 【居住政策課】	6,296		6,296

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
駅前の活用・活性化					
◎ 7	J R 総持寺駅周辺整備事業 【道路交通課】	<ul style="list-style-type: none"> ・庄中央線 委託、工事、用地、補償 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】 ・総持寺駅前線 委託、工事 借地、負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、 道路新設改良事業負担金(諸)、市債】 ・その他(公嘱登記) 委託【財源：市債】 	488,350	465,563	22,787
◎ 8	J R 総持寺駅整備事業 【市街地新生課】	負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】	145,610	121,993	23,617
◎ 9	J R 総持寺駅アート作品の設置 【文化振興課】	公共空間を活用し、アートのまちづくりを推進するため、J R 総持寺駅自由通路の壁面に絵画等のアート作品を展示する。	3,580		3,580
◎ 10	J R 茨木駅構内エスカレーター整備事業 【市街地新生課】	負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】	142,397	124,310	18,087
◎ 11	阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備事業 【道路交通課】	委託、補償 【財源：市債】	22,000	19,800	2,200
市民会館跡地活用					
◎ 12	市民会館跡地エリア活用基本計画の策定等 【政策企画課】	市民会館跡地エリアに整備する施設の機能や管理手法等を示す基本計画を策定するとともに、最適な整備手法等を検討するため、PPP手法導入可能性調査等を行う。 【財源：官民連携基盤整備推進調査費補助金(国)】	23,671	11,772	11,899
◎ ☆ 13	「育てる広場」実現に向けた取り組みの推進 【政策企画課】 【31頁参照】	市民会館跡地エリア活用基本計画へ市民の意見を反映させるため、施設・広場整備に向けてのワークショップを開催するとともに、「育てる広場」の実現に向け人工台地において芝生活用の社会実験を行う。	9,936		9,936

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
公共交通・交通安全					
◎ ☆	14 高齢者の運転免許証自主返納促進 【道路交通課】 【33頁参照】	高齢者の交通事故防止を図るため、65歳以上の運転免許証の自主返納者に対し、バス等の公共交通機関で利用できる共通乗車カードの購入費用を補助する。 (対象) 65歳以上の運転免許証の自主返納者 (補助額) 6,000円 ICOCA(6,000円)またはグランドパス65(6,000円)	9,000		9,000
◎	15 総合交通戦略の中間見直し 【道路交通課】	平成25年度策定の総合交通戦略について、施策の進捗状況を検証・確認するとともに、交通状況の変化や現状の課題等を反映させるため、中間見直しを行う。	3,754		3,754
	16 可動式ホーム柵設置への補助 【道路交通課】	駅ホームにおける利用者の安全対策を図るため、可動式ホーム柵を設置する鉄道事業者へ補助を行う。 対象：南茨木駅<大阪高速鉄道(株)>	16,667		16,667
道路交通					
	17 道路新設・改良事業(補助分) 【道路交通課】	<ul style="list-style-type: none"> 宿久庄二丁目安威一丁目線 委託、工事 【財源：市債】 天王一丁目沢良宜西二丁目線 工事、用地、負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】 	135,300	125,300	10,000
	18 道路新設・改良事業(単独分) 【道路交通課】	<ul style="list-style-type: none"> 高田町豊川四丁目線 工事【財源：市債】 安元地区内線 工事 【財源：安元地区内線整備負担金(諸)】 星見町玉島線 用地【財源：市債】 その他 委託、負担金 	105,000	74,300	30,700
	19 歩道設置事業 【道路交通課】	<ul style="list-style-type: none"> 田中町西河原線 委託【財源：市債】 中津町4号線(通学路カラー舗装) 工事【財源：市債】 西駅前町中穂積三丁目線(通学路カラー舗装) 工事【財源：市債】 自転車レーン整備 工事【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】 バリアフリー推進(段差解消、点字ブロック等) 工事【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】 その他(歩道段差改良、横断歩道新設等) 委託、工事、負担金 	57,456	26,875	30,581

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
北部地域のプロジェクト					
◎ ☆ 20	いばきたデザインプロジェクトの実施 【北部整備推進課】	「山とまちをつなぐ」をテーマに活動(関係)人口の増加を図るため、課題等を地域と共に見つめ直したうえで、市内外に発行できる魅力等を取りまとめたプロモーション冊子を作成する。 【財源：地方創生推進交付金(国)】	2,711	1,355	1,356
21	彩都関連事業 【道路交通課、下水道施設課】	[山麓線 第4工区] 委託、工事、負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、 街路整備受託事業負担金(諸)、市債】 [谷山水路] 工事、用地 【財源：市債】	299,892	275,821	24,071
22	ダム関連事業 【北部整備推進課、 道路交通課】	[大岩9号線] 工事 【財源：ダム関連道路整備負担金(諸)】 [車作1号線] 委託、工事 【財源：水源地域整備負担金(諸)、市債】 [安威川ダム周辺整備事業] 委託、手数料 【財源：水源地域整備負担金(諸)】	196,500	171,600	24,900
公園					
23	公園等再整備事業(長寿命化対策) 【公園緑地課】	委託 工事[沢良宜公園] [美沢公園] [真砂2号公園] [上穂東公園] [元茨木川緑地(沢良宜浜一丁目公園)] 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、 公共施設等総合管理基金繰入金、市債】	115,000	110,000	5,000
市営住宅の長寿命化					
24	市営住宅営繕事業 【建築課】	工事(外壁・屋上防水等) [道祖本第1棟] [沢良宜第4棟] 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】	120,000	120,000	

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
下水道等事業					
25	[下水道等事業会計] 経営戦略の策定 【下水道総務課、下水道施設課】	将来にわたって安定的な事業継続を図るため、中長期的な経営を行ううえでの基本計画となる経営戦略を策定する。	2,785		2,785
26	[下水道等事業会計] ストックマネジメント計画の策定 【下水道総務課、下水道施設課】	施設管理の最適化を図るとともに長寿命化等に係る事業費の平準化を図るため、リスク評価による優先順位付けなどを行うストックマネジメント計画を策定する。 【財源：社会資本整備総合交付金(国)】	18,954	7,581	11,373
27	[下水道等事業会計] 公共下水道整備事業 【下水道総務課、下水道施設課】	委託、工事、負担金 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、受益者負担金等、企業債】	319,314	281,328	37,986
28	[下水道等事業会計] 下水道施設の長寿命化対策 【下水道総務課、下水道施設課】	工事 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、企業債】	105,000	99,000	6,000
29	[下水道等事業会計] ポンプ場整備事業 【下水道総務課、下水道施設課】	[大池ポンプ場] 委託、工事 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、企業債】	813,402	813,360	42
環境					
☆ 30	ごみ分別方法等の多言語案内の整備 【資源循環課】	外国人へごみの分別や出し方等に関する情報を効果的に周知するため、英語・中国語・韓国語表記の内容をホームページ及びごみ分別アプリ内で閲覧できるようにするとともに、外国語対応のリーフレットを窓口等で配布する。	649		649
31	小型家電等の回収拠点の拡充 【環境事業課】	レアメタル等の再資源化を促進し、水銀による環境汚染を防止するため、小型家電等の回収拠点を拡充（2か所⇒6か所）する。【予算総額：2,763】 〈回収対象〉 ・使用済小型家電（携帯電話、パソコン、ドライヤー等） ・水銀使用廃製品（蛍光灯、体温計等） 【財源：資源化物売却代金(諸)】	1,731	130	1,601

事業		内容等	事業費 a		
			特定財源 b	一般財源 c=a-b	
	32	ごみ処理施設新燃料の活用による運営経費の効率化 【環境事業課】 ごみ処理施設の効率的・効果的な運営を図るため、ごみ処理に係る燃料となる石炭コークスに廃材チップを混合したハイブリットNコークスを活用する。 ≪ハイブリットNコークス活用に伴う効果額 △36,192≫ ・燃料費 △18,300 ・光熱水費等△11,739 ・<歳入>発電設備供給電力料金(諸)6,153	▲30,039	6,153	▲36,192
☆	33	ごみ処理施設の長寿命化総合計画の策定 【資源循環課】 ごみ処理施設の現状を把握し、将来にわたる適切な施設保全等を図るため、操業継続における目標設定や今後の整備計画を内容とする長寿命化総合計画を策定する。 【財源：二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金(国)】	23,912	7,970	15,942

2 らしさをいかす 次代の茨木を担う人を育むまちに ~教育~

待機児童対策・学童保育・保育環境の充実

◎	1	私立保育所等の建設補助 【保育幼稚園総務課】 待機児童の解消と保育環境の改善を図るため、私立保育所、認定こども園の建替えにかかる費用を補助する。 ・平成29年9月補正 債務負担行為設定分：3園 ・平成30年当初 債務負担行為設定分：3園 【財源：保育所等整備交付金(国)、福祉事業推進基金繰入金】	1,168,435	1,038,210	130,225
◎ ☆	2	小規模保育施設のぞみの開設 【保育幼稚園総務課】 待機児童の解消に向け、保育の受入体制の確保を図るため、春日小学校用地に小規模保育施設のぞみを開設する。 【財源：公立小規模保育施設利用者負担額(使)、地域型保育給付費負担金(国)(府)】	39,107	36,607	2,500
☆	3	訪問型病児・病後児保育利用料補助金の創設 【保育幼稚園事業課】 【34頁参照】 子どもの急な発病の際にも、保護者が安心して働ける環境を整えるため、民間事業者が実施する訪問型病児・病後児保育事業の利用者に対し利用料の一部を補助する。 <補助対象>対象事業者の提供する保育サービス利用料(入会金、年会費、登録料等は除く) <補助上限>1時間 1,000円 年間 40,000円	918		918
	4	施設型病児保育の拡充 【保育幼稚園事業課】 子どもの急な発病の際にも保護者が安心して働ける環境を整えるため、病児保育事業の実施施設における開室時間を拡充する。【予算総額：30,443】 拡充後：午前8時～午後6時(初日<初診時>は除く、初日<初診時>における保育開始時間は従来どおり) 【財源：病児保育利用料(諸)】	1,771	240	1,531

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
◎ ☆	5	小規模保育事業所等卒園児の私立幼稚園入園支援補助金の創設【保育幼稚園事業課】	小規模保育事業所等の卒園児が保育所等への入所が困難となる場合において、私立幼稚園への入園を支援するため、私立幼稚園の就園にかかる費用を補助する。 〈対象児童〉保育所等への入所が困難となる小規模保育事業所等の卒園児（2号認定）	384		384
	6	小規模保育事業等運営補助金の拡充【保育幼稚園事業課】	小規模保育事業所等において障害児を安心して受け入れる体制を整備するため、手すり設置や段差解消等の環境整備に係る費用を補助する。【予算総額：79,659】 〈補助対象〉障害児の受入れのために行う既存施設の改修費 【財源：保育対策総合支援事業費補助金(国)(府)】	1,029	686	343
◎	7	認定こども園における給食室の整備【保育幼稚園総務課】	認定こども園における安全・安心な給食の提供体制を整備するため、自園調理を行うための給食室を整備する。 工事（認定こども園茨木幼稚園） 【財源：市債】	72,000	64,800	7,200
	8	公立保育所の改修【保育幼稚園総務課】	工事〈総持寺保育所〉 委託（設計）〈春日保育所〉 【財源：公共施設等総合管理基金繰入金、市債】	105,000	104,500	500
◎	9	学童保育室の整備【学童保育課】	児童数の増加が見込まれる中条小学校に学童保育室を整備するとともに、春日学童保育室の新設に伴い既設の1棟を畑田小学校へ移築する。 【財源：子ども・子育て支援整備交付金(国)、(府)、市債】	162,784	154,625	8,159
子育て支援						
	10	こども医療費助成の対象年齢拡大【こども政策課】	こども医療費助成制度について、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、平成30年4月から対象年齢を拡大する。 【予算総額：1,107,294】 現行：0歳～12歳（小学6年生） 拡充後：0歳～15歳（中学3年生）	172,228		172,228
	11	(仮称)次世代育成支援行動計画（第4期）策定に向けたニーズ調査の実施【こども政策課】	(仮称)次世代育成支援行動計画（第4期）の策定にあたり、乳幼児期の教育・保育施設サービスの必要量や今後の提供体制の内容等を検討するため、子育て中の保護者や若者のニーズ等を把握する調査を行う。	7,680		7,680

事業		内容等	事業費 a		
			特定財源 b	一般財源 c=a-b	
12	つどいの広場 (地域子育て支援 拠点)の増設 【子育て支援課】	子育て支援のさらなる充実を図るため、地域子育て支援の拠点となる「つどいの広場」を増設(17か所→19か所)する。 【予算総額：128,514】 【財源：子ども・子育て支援交付金(国・府)】	8,118	5,412	2,706
13	子育て世代包括 支援事業の充実 【保健医療課】	子育て世代包括支援事業(ネウボラ)において、妊娠期から子育て期にわたるよりきめ細やかな支援体制の充実を図るため、専任職員(助産師)を1人配置する。 【財源：子ども・子育て支援交付金(国・府)】	3,383	2,254	1,129
子ども・若者の居場所対策					
☆ 14	ユースプラザ事 業の実施 【こども政策課】	様々な問題を複合的に抱える子ども・若者とその保護者の課題解決を図るため、相談機能を有する居場所の提供と、支援のための連携体制の構築を図る拠点となるユースプラザを4か所開設する。 (北)府宮茨木安威住宅 (東)総持寺いのち・愛・ゆめセンター別館 (西)豊川いのち・愛・ゆめセンター分館 (南)沢良宜いのち・愛・ゆめセンター分館 【財源：地域子供の未来応援交付金(国)】	42,047	4,000	38,047
15	こども食堂への 支援の拡充 【こども政策課】	食事や学習、交流の場となっているこども食堂の安定した運営と事務手続きの負担軽減を図るため、報償金へと変更し金額・回数を拡充する。【予算総額：894】	527		527
学力向上					
◎ 16	外国語指導講師 による英語教育 の充実 【学校教育推進課】 【35頁参照】	英語教育のさらなる充実を図るため、小学校3～6年生の授業時間を拡充するとともに、小学校5・6年生に実施している「英語シャワーデー」について、全学年での実施及び外国語指導講師の増員(2人⇒5人)を図る。【予算総額：98,496】	24,624		24,624
◎ 17	「図書館を使っ た調べる学習 コンクール」の実 施 【学校教育推進課】	新学習指導要領に求められる「学びに向かう力」の向上等を図るため、図書資料を有効に活用する力を養う「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施する。 【財源：図書館振興財団助成金(諸)】	500	500	

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
◎	18	小中学校校務支援システムの拡充 【教育センター】	教職員における業務の多忙化解消を図るとともに、効率的な教育活動を実践するため、現状の校務支援システムに、通知表や指導要録などの帳票作成機能を追加する。【予算総額：22,360】	12,543		12,543
◎ ☆	19	小中学校におけるメッセージ機能付き電話の設置 【学校教育推進課】	教職員における業務の多忙化の解消を図るため、小中学校における時間外の電話問い合わせについては、内容に応じて応答メッセージで教育委員会（市役所）への架電を案内するメッセージ機能付き電話を設置する。	3,230		3,230
教育環境の充実						
	20	小中学校トイレ洋式化の推進 【施設課】	学校施設的环境改善を図るため、老朽化したトイレの改修に伴う実施設計を行うとともに、改修済トイレについても便器の洋式化を行う。 委託 [小]春日小、山手台小 [中]天王中 【財源：市債】 修繕料	15,000	8,200	6,800
	21	小中学校大規模改造事業 【施設課】	学校施設的环境改善を図るため、外壁改修及び屋上防水に伴う実施設計を行う。 委託：山手台小、郡小、南中、天王中 【財源：市債】	24,100	19,700	4,400
	22	小中学校へのエレベーター設置 【施設課】	教育環境の改善を図るため、校舎へのエレベーター設置に伴う実施設計を行う。 委託：西河原小、東雲中 【財源：市債】	10,900	8,100	2,800
就学奨励費						
	23	特別支援等就学奨励費「新入学生用品費」の単価拡充 【学務課】	支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対する特別支援等就学奨励費の「新入学生用品費」について、単価拡充を行う。 (小学校：10,235円⇒20,300円 中学校：11,775円⇒23,700円) 【予算総額 2,654】 【財源：小・中学校特別支援教育就学奨励費補助金(国)】	1,323	662	661

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
中学校給食					
24	中学校給食のあり方検討【学務課】	中学校給食の今後のあり方について、平成29年度に実施したあり方懇談会の方向性を踏まえ、各給食実施方式での実現可能性や経費等について検討する。	3,770		3,770
生涯学習					
◎ ☆ 25	生涯学習推進計画の策定に向けたニーズ調査等の実施【文化振興課】	多様化する学習ニーズへの対応や学習成果が活かせる環境・体制を整備するため、生涯学習推進計画の策定に向けて、現状施策の分析やニーズ調査等を行う。	4,504		4,504
スポーツの推進					
26	市制施行70周年記念ウォーキング大会の実施【スポーツ推進課】	元茨木川緑地や北部地域の魅力を再発見しつつ、心身の健康づくりを推進するため、主に働き世代や子育て世代をターゲットとしたウォーキング大会を実施する。	882		882
◎ 27	東京オリンピックに向けたホッケー競技交流大会の開催等【スポーツ推進課】	スポーツの推進と国際交流を通じ、東京オリンピックに向けた機運の醸成を図るため、立命館大学等と連携し同大学ホッケー場においてオーストラリア代表ホッケー競技チームや日本代表チーム等の交流大会を開催する。	7,600		7,600
28	福井運動広場へのトイレ新設【スポーツ推進課】	利用者の利便性向上やバリアフリーの推進を図るため、福井運動広場へオストメイト対応トイレを設置する。 工事【財源：市債】	10,500	9,400	1,100
図書館・公民館					
29	(仮称)ブックフェスタ in 元茨木川緑地の開催【中央図書館、まち魅力発信課】	豊かな生活の実現に向け、「本」を介して「憩い」と「賑わい」を楽しむ場の創出を図るため、元茨木川緑地を活用した「(仮称)ブックフェスタ in 元茨木川緑地」を開催する。	3,170		3,170

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
	30	子どもの読書活動推進に向けた演劇会の開催 【中央図書館】	演劇鑑賞を通じて物語や芸術に興味を持つことで、より一層の子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進を図るため、文学作品を題材とした演劇会を行う。 [演目] ミュージカル「オズの魔法使い」	842		842
	31	中央図書館の改修 【中央図書館】	施設の長寿命化・安全対策を図るため、屋上防水工事やエレベーターの更新を行う。 工事、修繕料 【財源：市債】	125,000	88,200	36,800
	32	公民館の外壁改修・屋上防水 【社会教育振興課】	公民館施設の長寿命化を図るため、外壁改修・屋上防水工事を行う。 工事（茨木公民館） 【財源：市債】	22,220	19,900	2,320

3 いのちを守る ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに ~福祉~

地域医療・検診

◎ ☆	1	地域医療資源の調査・分析 【保健医療課】	今後の医療施策の展開に向けた基礎資料とするため、医療体制等についての現状把握と課題抽出のための調査・分析を行う。	7,501		7,501
◎ ☆	2	「地域医療支援病院」の施設整備等補助金の創設 【保健医療課】	地域医療を担うかかりつけ医等を支援する「地域医療支援病院」として承認された医療機関に対し、必要となる設備等整備に係る経費の一部を助成する。 ＜対 象＞地域医療支援病院の承認を受けた病院 ＜対象経費＞ICU設置、医療機器購入経費 ＜補 助 率＞1/2（上限：50,000千円）	50,000		50,000
◎	3	胃がんリスク検診の対象者の拡充 【保健医療課】	将来の胃がんになるリスクを低減させるため、ピロリ菌検査・ペプシノゲン検査を行う胃がんリスク検診の対象を若年層まで拡充する。【予算総額：11,356】 [対象年齢] 現 行：40～70歳（5歳間隔） 拡充後：30～70歳（5歳間隔）	2,109		2,109

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
◎ ☆	4	[国保特会] 生活習慣病の重症化予防支援に係る手順書の作成 【保健医療課】	生活習慣病の重症化を予防するため、対象者の健康状態に合わせ、改善に向けた適切な支援ができる本市独自の手順書（プログラム）を作成する。 【財源：保険給付費等交付金(国)】	1,630	1,630	
高齢者福祉・介護						
	5	高齢者福祉タクシー利用料金助成の拡充 【高齢者支援課】	高齢者の経済的負担を軽減し、日常生活の利便性の向上及び社会参加の促進を図るため、新たに有料老人ホームの入所者を対象者に加える。【予算総額：19,250】	4,777		4,777
◎	6	いきいき交流広場の増設 【高齢者支援課】	高齢者の教養・娯楽等の交流を促進するため、いきいき交流広場を新たに3か所増設する。【予算総額：20,395】 ・現行21か所→24か所	3,390		3,390
◎	7	地域密着型介護施設の整備 【介護保険課】	高齢者が住み慣れた地域で生活するために整備する地域密着型介護施設について、整備を行う団体に対して、施設整備や開設準備に係る費用を補助する。 ・地域密着型特別養護老人ホーム 1か所 ・小規模多機能型居宅介護施設 1か所 ・認知症対応型共同生活介護施設 1か所 【財源：地域医療介護総合確保基金事業費補助金(府)】	222,606	222,606	
☆	8	[介護特会] 在宅医療・介護連携支援コーディネーターの配置 【高齢者支援課】	地域包括ケアシステムの推進に向け、医療と介護の連携を図るため、在宅医療・介護関係者に関する相談支援を行うコーディネーターを配置する。 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	6,500	5,233	1,267

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
	9	[介護特会] 在宅医療・介護 連携にかかる地 域住民への普及 啓発 【高齢者支援課】	地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅療養への理解を深め、地域住民への普及啓発を行うため、在宅療養ハンドブックを作成する。 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	3,108	2,502	606
☆	10	[介護特会] 認知症高齢者グ ループホーム利 用負担軽減補助 の実施 【介護保険課】	認知症高齢者グループホームの入所に係る経済的負担を軽減し、認知症高齢者ケアの充実を図るため、入居者の家賃を減額したグループホーム事業者に対して補助を行う。 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	15,564	12,529	3,035
☆	11	[介護特会] 認知症による閉 じこもり等の早 期把握に向けた ニーズ調査の実 施 【高齢者支援課】	認知症による閉じこもり等を早期に把握し、今後の認知症施策等の展開へと反映させるため、本人及び家族のニーズ調査を実施する。 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	7,150	6,256	894
◎	12	[介護特会] 生活支援体制整 備事業の再編 【高齢者支援課】	地域の多様な主体を活用し、介護予防を推進する生活支援体制整備事業において、地域ケア会議の参画等、より一層の住民参加を促進するとともに、市直営への事業実施体制へと再編する。 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	3,666	2,949	717
◎	13	[介護特会] 介護予防・生活 支援サービス事 業（通所型サー ビスB）の拡充 【高齢者支援課】	要支援認定者等を対象に実施する通所型サービスB事業において、利用施設となるコミュニティデイハウスを新たに3か所整備する。【予算総額：93,150】 ・現行8か所→11か所 【財源：地域支援事業交付金(国)、(府)、保険料】	24,120	21,105	3,015
障害者福祉						
◎ ☆	14	合理的配慮の提 供支援助成金の 創設 【障害福祉課】	民間事業者による合理的配慮の取組みを支援するため、段差解消やコミュニケーションツールの購入等に対し補助を行う。 〈対象経費〉コミュニケーションツール整備費 工事費（段差解消・手すり取付等） 〈補助率〉10/10 【財源：福祉事業推進基金繰入金】	3,000	3,000	

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
◎ ☆	15	障害者差別解消支援協議会の設置 【障害福祉課】	相談体制の整備等に向け障害を理由とする差別を解消する取り組みを効果的かつ円滑に行うため、障害者差別解消支援協議会を設置する。	1,334		1,334
◎	16	重度障害者福祉タクシー利用料金助成の拡充 【障害福祉課】	重度障害者の経済的負担を軽減し、日常生活の利便性の向上及び社会参加の促進を図るため、新たに有料老人ホームの入所者を対象者に加える。【予算総額：19,843】	475		475
◎	17	移動支援事業の報酬単価の拡充 【障害福祉課】	障害福祉サービスの質の向上と安定した利用の確保を図るため、移動支援事業の「身体介護を伴わない」区分に係る報酬単価を引き上げる。【予算総額：273,567】 【財源：地域生活支援事業補助金(国)、(府)】	11,530	4,842	6,688
◎	18	障害者に配慮した窓口の整備 【障害福祉課】	窓口や会議等における聴覚障害者への配慮を図るため、雑音を低減し、特定の方向からの相手の音声を聴き易くする集音器を導入する。	146		146
◎	19	生活介護事業の充実に向けたハートフルの改修 【障害福祉課】	障害福祉センターハートフルにおける生活介護事業のサービス向上を図るとともに、さらなる利用促進を図るため、機械入浴設備の更新やトイレ改修等を行う。 【財源：市債】	27,560	22,000	5,560
◎	20	障害者グループホームの開設補助 【障害福祉課】	障害者の共同生活援助施設であるグループホームを開設する団体に対して、建設に係る費用を補助する。 ・社会福祉法人 とんぼ福祉会（場所：鮎川五丁目）	9,445		9,445

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
児童発達支援					
21	新たな児童発達支援事業の実施（ばら親子教室・すくすく教室の再編） 【子育て支援課】	健診・保育・教育等、様々な場での気づきを適切に支援する初期療育を行うため、「ばら親子教室」と「すくすく教室」を再編整備し、こども健康センターで新たな児童発達支援事業を実施する。 【財源：新子育て支援交付金(府)、児童発達支援事業所利用料(使)、障害児通所給付費収入(諸)】	31,158	18,948	12,210
国民健康保険					
☆ 22	[国保特会] 国民健康保険料コンビニ納付の開始 【保険年金課】	国民健康保険料の納付について利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアでの納付を開始する。	6,497		6,497
4 活気あふれる 都市活力があふれる心豊かで快適なまちに ~経済~					
商工業振興					
1	いばらき おいもグルメフェアの開催 【商工労政課】	「おいもスイーツフェア」における参加店舗及び参加者の増加を図り、茨木産サツマイモを使った商品のブランド化を促進するため、市制施行70周年記念事業として、対象を飲食店全般に拡充した「おいもグルメフェア」を開催する。	3,270		3,270
◎ ☆ 2	起業志望者誘致セミナーの開催 【商工労政課】	起業志望者の市内への呼び込みを図るため、商工会議所等の創業支援ネットワークと共催し、新たに市外において起業セミナーを開催する。	73		73
◎ 3	創業促進事業補助金の拡充 【商工労政課】	多様化するビジネス形態に対応し、さらなる創業促進を図るため、創業促進事業補助金の補助対象に創業後5年未満の個人・法人を加えるとともに、補助内容に「法人設立に要する経費」を加える。【予算総額：20,000】	4,575		4,575

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
	4	正規雇用促進奨励金の拡充 (働きやすい職場づくりの推進) 【商工労政課】	働きやすい職場づくりを促進するため、ワークライフバランス等に配慮した職場環境を整備する認定事業所に対して、正規雇用への助成額を増額するなど正規雇用促進奨励金を拡充する。 【予算総額：10,900】	2,400		2,400
歴史・文化振興						
◎	5	川端康成青春文学賞の創設 【文化振興課】	ノーベル文学賞作家川端康成氏ゆかりのまちをPRするため、「川端康成青春文学賞」を創設し、全国から小説(ショートストーリー作品)を公募する。	7,637		7,637
◎	6	ノーベル賞受賞50周年記念に伴う川端康成文学館イベントの実施 【文化振興課】	ノーベル文学賞受賞50周年を記念するとともに、「川端康成が学んだ教育のまち茨木」を全国に向けて発信するため、生誕月記念企画展等を実施する。 ・生誕月記念企画展 「(仮称)川端康成と岡本太郎と万博と～激動の茨木～」 ・夏休み企画展 「(仮称)夢を叶えた川端康成～ノーベル賞をめぐる～」 ・観光協会講演会 「(仮称)川端康成の茨木での日々」	5,542		5,542
◎ ☆	7	市制施行70周年記念切手の作成 【文化振興課】	切手のコレクターだけでなく手紙のやり取りを通じて本市の風景等の魅力をPRするため、記念切手シート「いばらKitte」(1組10枚)を作成・販売する。 【財源：70周年記念切手頒布収入(諸)】	1,230	820	410
	8	就学前親子対象アートイベントの実施 【文化振興課】	幼少期から創作活動に親しむ機会を提供し、想像力・創造力を育むため、就学前児童とその保護者を対象にアートイベントを開催する。	500		500
◎	9	市制施行70周年記念「新作狂言茨木童子2018」の実施 【文化振興課】	文化振興財団における市制施行70周年記念事業として、古くからの伝説として市民に親しまれている「茨木童子」の狂言を上演する。 ・新作狂言「茨木童子2018」	2,962		2,962

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
まちな魅力発信・活性化					
10	市制施行70周年 記念式典の開催 【まち魅力発信課】	市制施行70周年という節目を迎えるにあたり、本市発展のために貢献された方々への表彰をはじめ、「次なる茨木へ。」に向けたまちづくりを共感できる場として、「市制施行70周年記念式典」を開催する。 《日時》平成30年11月3日(土) 《場所》立命館いばらきフューチャープラザグランドホール	21,652		21,652
◎ 11	市制施行70周年 記念映画の制作 【まち魅力発信課】	「川端康成が学んだ教育のまち茨木」を市内外に発信することで、市民の「誇りと愛着」の醸成とまちな魅力の向上を図るため、市制施行70周年記念映画を制作する。なお、事業PRと財源確保のためクラウドファンディングも活用する。 【財源：市制施行70周年記念事業寄附金(寄)】	21,728	10,000	11,728
◎ 12	市制施行70周年 記念誌の作成 【まち魅力発信課】	市制70年の歩みを振り返るとともに、次なる茨木に向けたまちな魅力を紹介するため、「誰もが読みたくなる」記念誌を作成する。	4,254		4,254
◎ 13	リノベのいばら きプロジェクト の推進 【政策企画課】	さらなる活動人口の増加を図ることによりまちな持続的発展をめざすため、空き店舗改修ワークショップを実施するとともに、リノベーション活動を支援する取組みを進める。 【財源：地方創生推進交付金(国)】	18,100	8,800	9,300
14	市議会70周年記 念誌の発行 【市議会事務局総務 課】	市制施行70周年を節目に、市議会活動の周知や興味・関心の醸成を図るため、この10年間の議会活動を集約した記念誌を発行する。	5,791		5,791
農林業振興					
◎ ☆ 15	新しい農業施策 構築に向けた調 査等 【農とみどり推進 課】	新しい農業施策を構築・展開するため、地区ワークショップ等により地域の課題等を調査・整理するとともに、地域農業者とともにモデル事業を検討・実施する。	2,938		2,938

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
16	森林整備事業補助金の拡充（有害獣対策） 【農とみどり推進課】	農地環境の保全を図るため、森林整備事業補助金の補助対象に有害獣対策として行う森林と農地間への緩衝帯の整備費用を新たに加える。【予算総額：2,456】 ＜対象経費＞有害獣対策（電気柵等）が実施されている農地における農地間の緩衝帯整備経費	150		150	
5 いざ、に備える ともに備え命と暮らしを守るために ～安全～						
防災対策						
◎	1	一時避難地の防災機能強化 【危機管理課】	一時避難地に指定している都市公園の防災機能を強化するため、マンホールトイレ、かまどベンチ等を年次的に整備する。 委託（若園、郡山、松沢池公園） 工事（耳原、桑田、あさぎ里山） 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】	75,500	66,400	9,100
◎	2	一時避難地を活用した防災訓練の実施 【危機管理課】	地域防災力の強化を図るため、自主防災会等と連携し一時避難地である岩倉公園において、マンホールトイレ・かまどベンチ等を活用した防災訓練を実施する。	4,376		4,376
◎	3	指定避難所運営マニュアルの作成 【危機管理課】	円滑な避難所運営や地域の防災意識の向上を図るため、平成29年度に作成した避難所運営マニュアルをもとに、モデル校区におけるワークショップを通じて、各指定避難所の運営マニュアルを作成する。	918		918
	4	災害用備蓄品（簡易トイレ）の配備 【危機管理課】	災害時における地域防災力の強化を図るため、小学校や公民館等の指定避難所に災害用備蓄品として2年をかけて簡易トイレを配備する。	4,273		4,273
	5	全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機の導入 【危機管理課】	情報伝達時間の短縮や気象に関する特別警報等の伝達情報の充実を図るため、全国瞬時情報システム（Jアラート）の新型受信機を導入する。 【財源：市債】	4,892	4,800	92

事業		内容等	事業費 a			
			特定財源 b	一般財源 c=a-b		
◎	6	地域防災計画の修正 【危機管理課】	大規模災害発生時の庁内体制の確保や地域防災力の向上を図るため、災害対策の基礎となる地域防災計画を国府の関連ガイドライン等の更新にあわせて見直す。	6,200		6,200
	7	洪水・内水ハザードマップの更新 【危機管理課】	洪水や土砂等による危険を示した洪水・内水ハザードマップのいばなびマップのデータについて、水防法改正による淀川の浸水想定区域の見直し等を反映する。	702		702
	8	ため池ハザードマップの作成 【農とみどり推進課】	大雨や震災に伴うため池災害（決壊による浸水）に備えるため、ため池下流域の安全確保に向けたハザードマップを作成する。 実施：下ノ池、長池ほか11カ所 【財源：農村地域防災減災事業補助金(国)】	32,500	32,500	
	9	高機能消防総合情報システムの整備 【警備課】	迅速かつ正確な消防指令を行い、災害発生時における的確な指揮対応を図るため、指令室と現場画像等の共有や多言語通訳対応など新機能を追加した高機能消防総合情報システムに更新する。 【財源：市債】	598,496	448,800	149,696
	10	消防車両・機器の整備 【警備課】	救急車1台、高度救命用資機材1組(救急車用)、指揮車1台、ビデオ喉頭鏡1式、吸引シミュレーター1式、簡易無線機30台、小型動力ポンプ1台、張力計1式、可搬式ウインチ1器、空気呼吸器2器 【財源：緊急消防援助隊設備整備費補助金(国)、市債】	60,205	50,849	9,356
	11	[下水道等事業会計] 雨水管渠の整備 【下水道総務課、下水道施設課】	ゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減を図り、総合的かつ計画的に雨水対策を推進するため、雨水管渠を整備する。 工事 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、企業債】	210,000	210,000	

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
防犯					
◎	12 防犯パトロール車の更新等 【危機管理課】	防犯体制の強化を図るため、防犯協会に貸与している青色防犯パトロール車を白黒塗装するとともに、老朽車両を白黒仕様で更新する。	2,916		2,916
耐震等対策					
	13 橋梁新設改良事業 【道路交通課】	あけぼの橋 工事 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、市債】	97,600	93,180	4,420
	14 [下水道等事業会計] 下水道施設の耐震化 【下水道総務課、下水道施設課】	委託、工事 【財源：社会資本整備総合交付金(国)、企業債】	777,600	777,600	
6 議論を重んじる 対話重視で公平公正な市政運営 ～対話～					
施策提案、大学連携					
◎ ☆	1 未来のいばらきコンテストの実施 【政策企画課】	若い世代の郷土愛を醸成し、関係人口をはじめ活動人口の増加や地域の活性化につなげるため、将来の茨木を見据えた「若者らしい斬新かつ現実的な夢」を提案するコンテストを開催する。	3,837		3,837
◎	2 いばらき×大学連携事業の拡充 【政策企画課】	学生の本市への愛着の醸成と地域活性化を図るため、いばらき・大学連携事業補助金の対象件数を拡充する。【予算総額：7,750】 ①大学生向け 5件→10件 ②大学向け 4件→5件	1,750		1,750
地域施設の充実					
	3 コミュニティセンターへのエレベーター設置等 【市民協働推進課】	利用者の利便性向上、施設の長寿命化を図るため、エレベーター設置及び外壁改修等を行う。 委託（三島、山手台）、工事（山手台） 【財源：市債】	110,648	99,500	11,148

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
公共施設等マネジメント				
☆	4 公共施設構造体 耐久性調査の実 施 【財産活用課】	公共施設の有効活用及び全体最適化を図るため、今後進める長 寿命化対策等の検討に必要な公共施設の耐久性や劣化度等 の状況を調査する。	24,516	24,516
☆	5 公共施設の包括 的空調設備更新 調査の実施 【財産活用課】	空調設備に使用の冷媒（R22）が、2020年で国内生産廃止とな ることをふまえ、空調設備等の更新における費用負担の軽減と 設備の合理化を進めるため、最適な手法等の検討を行う更新調 査を実施する。	39,960	39,960
行財政運営				
	6 第5次総合計画 中間見直しに向 けた市民意向調 査等の実施 【政策企画課】	第5次総合計画の前期計画の施策推進状況や、市民のまちづく りに対する意識の変化を後期基本計画に反映するため、市民意 向調査を実施する。	5,832	5,832
☆	7 総合窓口の導入 検討 【政策企画課】	複数窓口での手続きの軽減や待ち時間の短縮など、市役所窓口 における市民サービス及び利便性の向上を図るため、総合窓口 （ワンストップ）の導入に向けた検討を行う。	9,921	9,921
	8 庁内システム全 体最適化の推進 【情報システム課 ほか】	庁内におけるシステム管理の効率化を図るため、ホストシステ ムのオープン化や文書・財務等の内部システムの再構築など、 庁内システムの最適化を推進する。	582,779	582,779

[継続費・債務負担行為]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費
継続費		
道路新設・改良事業（補助分） （天王一丁目沢良宜西二丁目線） 【道路交通課】	平成30年度～平成31年度継続事業 [総額] 110,000 [年割額] (H30) 44,000 (H31) 66,000	110,000
JR総持寺駅周辺整備事業（総持寺駅前線） 【道路交通課】	平成30年度～平成31年度継続事業 [総額] 418,000 [年割額] (H30) 250,800 (H31) 167,200	418,000
債務負担行為		
私立保育所等建設補助事業 【保育幼稚園総務課】	債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成31年度 [限度額] 455,385	455,385
道路維持事業 【道路交通課】	債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成31年度 [限度額] 28,000	28,000
道路簡易舗装事業 【道路交通課】	債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成31年度 [限度額] 30,000	30,000
高機能消防総合情報システム整備事業 【警備課】	債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成31年度 [限度額] 211,504	211,504

[特別会計]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費 a	特定財源 b	一般財源 c=a-b
特別会計				
財産区特別会計	対前年度比較(当初) [歳入] 繰越金 5,075,630(対前年度 [歳出] 地方振興事業費 5,073,884(対前年度 一般会計繰出金 59(大字清水財産区線下補償料)	△77,861 1.5%減 △77,004 1.5%減 △77,694 1.5%減	5,077,271	5,077,271 0
国民健康保険事業特別会計	対前年度比較(当初) [歳入] 保険料 5,663,398(対前年度 一般会計繰入金 2,291,931(対前年度 府支出金 19,468,129(対前年度 [歳出] 保険給付費 19,218,306(対前年度 国民健康保険事業費納付金 7,524,759(新規)	△7,162,695 20.7%減 △745,830 11.6%減 △811,155 26.1%減 926.9%増 △1,468,577 7.1%減	27,496,639	25,133,799 2,362,840
後期高齢者医療事業特別会計	対前年度比較(当初) [歳入] 保険料 3,184,083(対前年度 一般会計繰入金 613,468(対前年度 [歳出] 広域連合納付金 3,701,002(対前年度	143,738 3.9%増 154,431 5.1%増 19,601 3.3%増 191,592 5.5%増	3,809,963	3,186,495 623,468
介護保険事業特別会計	対前年度比較(当初) [歳入] 保険料 4,513,365(対前年度 国庫支出金 3,618,119(対前年度 支払基金交付金 4,616,233(対前年度 一般会計繰入金 2,641,495(対前年度 [歳出] 保険給付費 16,253,947(対前年度 地域支援事業費 1,221,919(対前年度	△262,385 1.4%減 335,533 8.0%増 △89,240 2.4%減 △250,752 5.2%減 △36,365 1.4%減 △340,660 2.1%減 88,542 7.8%増	17,980,606	15,239,111 2,741,495

[公営企業会計]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費
公営企業会計		
下水道等事業会計	対前年度比較(当初) ・収益の支出 6,284,313 ・資本の支出 5,477,905 1. 汚水処理人口 : 281,607 人 2. 汚水処理戸数 : 124,459 戸 3. 排水面積 : 2,743 ha [参考(一般会計)] 下水道等事業会計繰出金 2,211,766 (△360,936 14.0%減)	△113,565 1.0%減 11,762,218
水道事業会計	対前年度比較(当初) ・収益の支出 5,498,448 ・資本の支出 3,137,872(設備改良費 1,935,749) [総給水量 30,307,600m ³] [参考(一般会計)] 水道事業会計繰出金 14,602 (△2,800 16.1%減)	△541,759 5.9%減 8,636,320

次なる茨木・グランドデザインの推進について



1 目的

本市の中心市街地では、市民会館跡地エリア活用やJR茨木・阪急茨木市駅両駅前整備をはじめ、元茨木川緑地の再整備など、様々なプロジェクトが予定されている。

このような状況を踏まえ、本市の中心市街地の将来像の「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、本市中心部の「上質なデザイン」を創造し、「良質な空間」、「憩いある空間」や「活動の場」などを創出するものとする。

2 グランドデザインのイメージ案

現状課題	中心市街地の商業的な衰退、賑わい不足	主要施設（市民会館、駅前施設）の更新時期の到来	市民ニーズ（憩い、交流の場）に対応する「場」の不足
方向性	◎中心市街地のまちの将来像と拠点、ネットワーク、エリアのあり方を示す		
	まちの活性化と魅力向上、機能の維持増進	主要施設の統一感のある整備	市民ニーズに応じた活動が生まれる場の創出
コンセプトとキーワード	『都市と自然が次いでいる中心市街地』		
	都市的要素 便利 交通の便、コンパクトな立地 賑わい 歩いて買い物、個性的な店舗 次世代 若者、大学生等	「次いでいる」場所づくり つながる 都市、自然、人 連続する 元茨木川緑地、一方通行化 接点となる 駅、市民会館跡地エリア等	自然的要素 緑 元茨木川緑地、中央公園 歴史 茨木城下、在郷町 文化 川端康成文学館、北部への玄関口
	＝ 活動が生まれる中間領域（公共・民間）を積極的につくり出す		
	サードプレイス	デザイン	リノベーション

3 グランドデザイン推進の仕組みについて

「次なる茨木・クラウド。」プロジェクトを展開！

「次なる茨木・クラウド。」は・・・

次なる茨木を担う・多様な主体

が出会い活動する場や機会をつくりだします。

※クラウド crowd=多数の人/cloud=雲 の意味 大勢の人が集い増えていくことをイメージ

- ◎まずは、【目的】 まちづくりの使い手から「担い手」につなげるため、
- 【人】 既に多様な活動をしている「プレイヤー」が集まり、
- 【場所】 次なる茨木のシンボリックな場である「リノベのいばらき工房」で
- 【テーマ】 専門家等を活用した「まちづくりの旬な知見」を共有・共感する
取組をスタート。

◎そのために、グランドデザインのキーワードを切り口に、まちづくりの専門家による、活動につながる知見や助言を受けながら、新たなまちづくりを進める。

◎今後、この取組をきっかけにさまざまな事業への市民参加と新たな担い手づくりを進めていく。

元茨木川緑地リ・デザインに向けた検討

【概要】

市民の皆さまの貴重な財産として、廃川となった元茨木川を緑地として段階的に整備して約40年が経過し、樹木の老木化や密集化、施設の老朽化が課題となっているため、平成29年度に緑地の現状の把握と専門家の知見や幅広い市民ニーズが得られるシンポジウムを開催し、平成30年度に開催する市民ワークショップを活用しながら、元茨木川緑地のリ・デザイン計画を策定する。



たくさんの市民でにぎわう元茨木川緑地（市民さくらまつり）



活発なご意見をいただきました（自治会座談会）



元茨への思いを語る「確かな未来ミーティング」



元茨木川緑地リニューアルシンポジウム

日 時	平成 30 年 2 月 11 日（祝日・日曜日）13:30～16:30
プログラム	13:30 開会 13:35 元茨木川緑地について 13:50 様々な視点から見た元茨木川緑地 「茨木市の緑について」 加我 宏之 「元茨木川緑地の可能性と使いこなし」 赤澤 宏樹 「地域資産としての元茨木川緑地」 服部 利幸 「元茨木川緑地をみんなで歩こう！」 佐藤 真治 14:40 休憩（体操体験、パネル展示） 14:55 ディスカッション「次なる元茨木川緑地」 16:30 閉会
専門家プロフィール	加我 宏之（コーディネーター） 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻・緑地計画学 教授 茨木市緑の基本計画（H28.3策定）委員長 専門：環境農学 <hr/> 赤澤 宏樹 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 / 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 専門：緑地計画学 <hr/> 服部 利幸 立命館大学 政策科学部 政策科学研究科 教授 / 立命館大学 OIC 地域連携室 室長 専門：経営戦略分析 <hr/> 佐藤 真治 大阪産業大学 スポーツ健康学部 スポーツ健康学 教授 専門：臨床運動生理学、健康まちづくり



元茨木川緑地リニューアルシンポジウムプログラム

【スケジュール】

- 平成29年度
 - ・元茨木川緑地の現況調査
 - ・元茨木川緑地に隣接する自治会座談会の開催
 - ・確かな未来ミーティング～次なる元茨木川緑地～の開催
 - ・元茨木川緑地リニューアルシンポジウムの開催
- 平成30年度
 - ・元茨木川緑地全体のリ・デザイン計画策定
 - ・重点箇所のリ・デザイン計画策定
 - ・管理運営計画の策定
 - ・計画の広報・発信

元市民会館跡地活用 「育てる広場」に向けた取り組み

1 概要

これまでの市民との「対話」に加え、計画策定段階からの「参加」を得ることで、市民自身の手により作り上げ、完成後も関わり続けていく「育てる広場」のコンセプト実現に向けた取り組みとする。

	内容	時期
構想編	100人会議による対話を進め、基本構想を策定	H28(H29)
計画編	施設と広場、2つのアプローチでワークショップを実施。基本計画への市民意見の反映を行うとともに、実際に広場の社会実験を行うことで、対話から参加へとステップアップを図る。	H30～

次はココ！

2 ワークショップの内容

平成30年度は、「施設編」と「広場編」の2つのワークショップを実施する。さらに「広場編」では、人工台地を使った社会実験へと継続する。

A: 施設編(5人×3～4班×2回)

■テーマ1「どんな施設にしよう？」

施設の機能やレイアウトについて話し合い、基本計画策定の参考とする

■テーマ2「もっと使ってもらうには？」

今まで使ってこなかった人にも使ってもらうために、自分たちでできること(企画)を考える
⇒ 今後のプレオープン事業として企画

B: 広場編(5人×3～4班×2回)

■テーマ1「どんな広場にしよう？」

どんな広場にしたいか話し合い、基本計画策定の参考とする

■テーマ2「実際に試してみよう」

人工台地に芝生を敷き、実際に試してみる企画を考える → 「芝生の社会実験@人工台地」へ

3 社会実験の内容

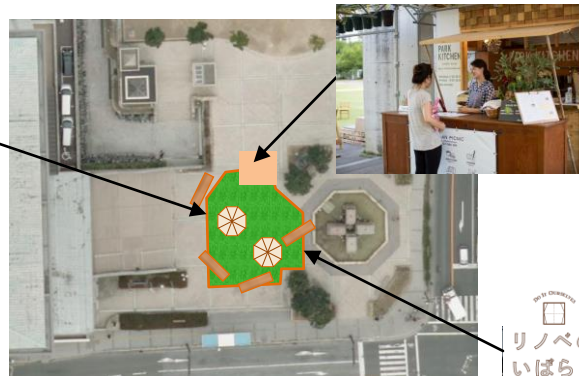
人工台地に一定の広さの芝生を敷き、カフェやマルシェ、さまざまな活動、使い方、過ごし方、さらには芝生のメリット・デメリット、人工台地の可能性、その可能性を実験・共有していく。



市民参加による芝貼りイメージ



「みんなのひろば」(松山市)



社会実験イメージ

カフェ小屋イメージ



マルシェイメージ



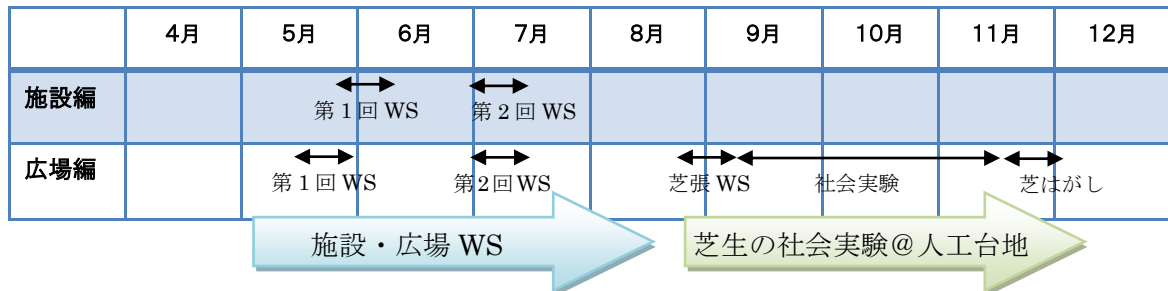
DIY工房と連携して椅子や柵などをWSで作る

<目的・狙い>

市民自身の手で「やってみる・形にしてみる」といった活動に挑戦し、そのプロセスを共有するとともに、跡地エリアの新しい姿に向けた期待感を醸成する。

<p>【STEP1:芝生を敷く】 人工台地に芝生(約 300 m²)を敷く。自分たちの場所という意識を持つためにも、芝張りもワークショップで行う。</p> <p>【STEP2:小屋や椅子をDIY】 カフェ小屋やテーブル、椅子、視線を遮る柵等の設営を行う。DIY 工房等と連携し、できるだけ市民の手によるDIY で作り上げる。</p> <p>【STEP3:実際に使う】 カフェや、マルシェ、音楽会などのイベントを、参加者や地元飲食店などと連携しながら実施する。</p> <p>【STEP4:芝生を片付ける】 芝生を剥がすのも参加者で。剥がした芝生は、参加者に持ち帰ってもらう、岩倉公園で利用など、無駄にしない。</p>

4 ワークショップ・社会実験のスケジュール(H30 年度)



高齢者の運転免許証自主返納促進

1 目的

高齢者による事故が増加していることから、高齢者用フリー定期券やICOCA購入費用に対して補助することで、運転免許証の自主返納を促進し、交通事故防止と公共交通を使った外出を支援する。

2 概要

【内 容】市内に住む65歳以上の運転免許証を返納された方

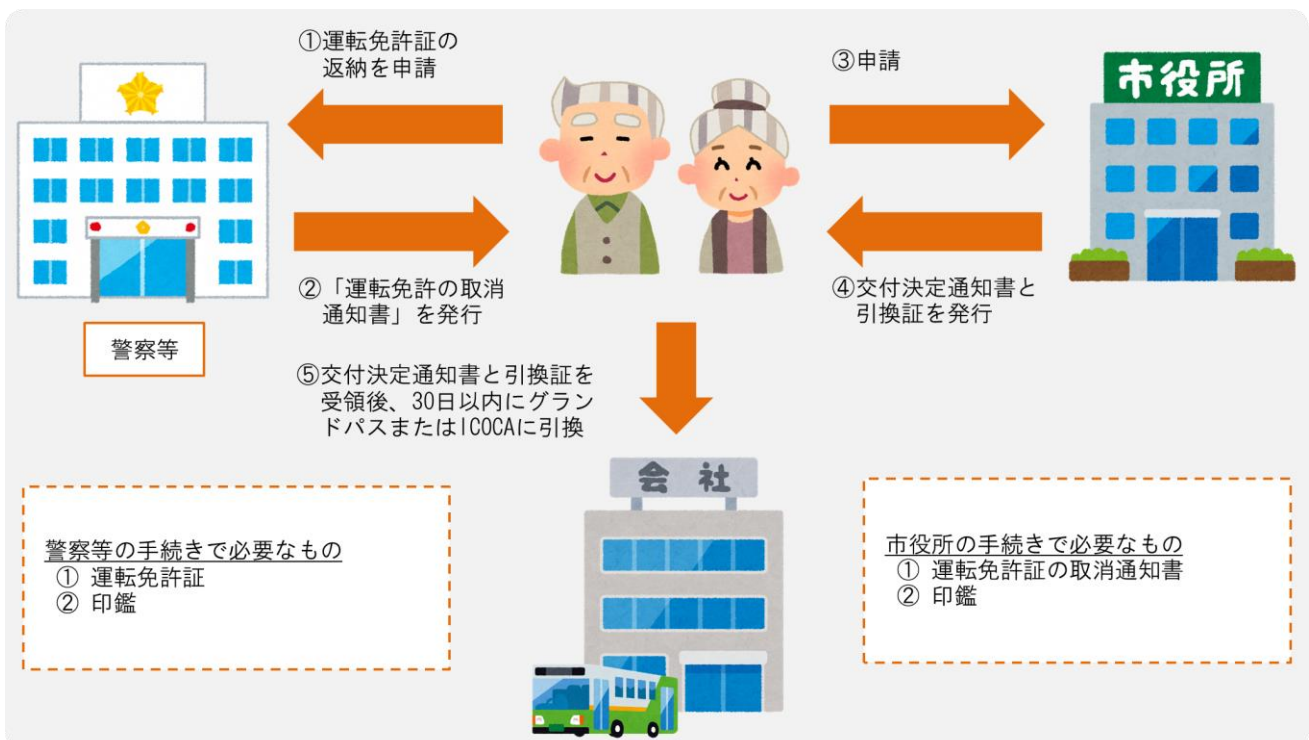
【補助内容】グランドパス65 1ヶ月相当分 または ICOCA 6,000円分
※グランドパス65：満65歳以上の方を対象にした阪神バス（全線）、阪急バス（930円以下区間）の定期券。

【補助額】6,000円

【予算額】900万円（@6,000円×1,500人）



3 手続きの流れ



訪問型病児・病後児保育利用料補助事業について

【目的】

お子さんが病気または病気の回復期にあつて、集団保育及び保護者自らの保育が困難な時期に、ベビーシッター等の派遣を利用した保護者に対し、利用料の一部を補助します。

【事業内容】

1 対象児童

保育所等の入所要件（2号・3号認定）に該当する就学前児童及び学童保育室に入室できる要件に該当する小学校3年生までの児童

2 補助対象

訪問型病児・病後児保育の利用料の一部

3 補助内容

利用時間1時間につき1,000円を上限に補助

1日最大10時間まで、1回の利用は7日間までが対象（児童1人あたり）

以下の費用は補助の対象外

入会金、年会費、月会費及びこれらに準じる費用

ベビーシッター派遣にかかる交通費、食費

4 補助上限

児童1人あたり、年間4万円（4月1日～翌年3月31日）

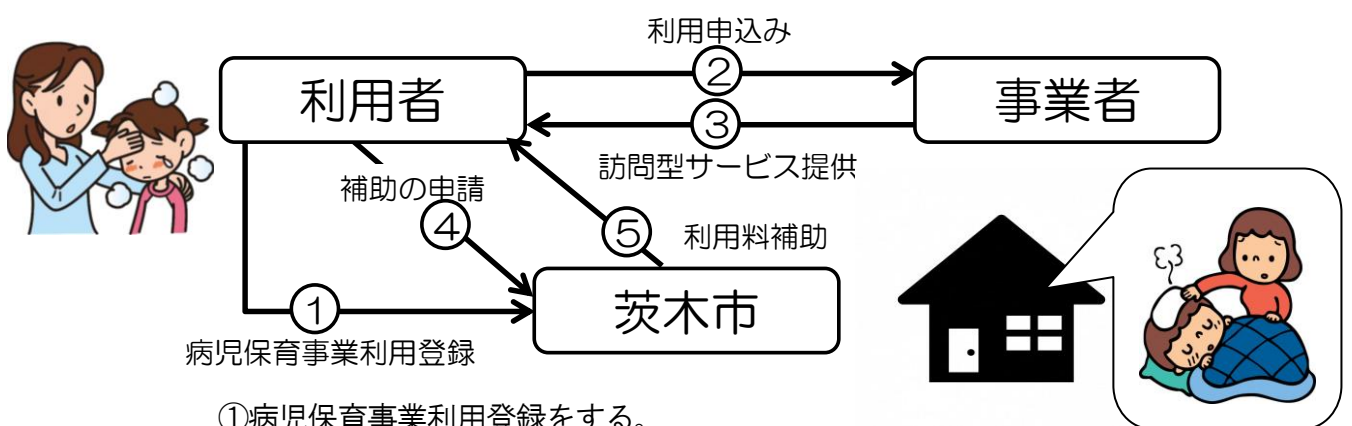
※平成30年度については、7月から実施予定

5 助成対象となる事業者

公益社団法人 全国保育サービス協会加盟事業者

内閣府「ベビーシッター派遣事業」割引券取扱事業者

6 利用のイメージ



①病児保育事業利用登録をする。

②事業者へ利用の登録等の手続きをし、利用を予約する。

③訪問型病児保育サービスを提供する。

④診断書及び領収書等を添付し利用補助を申請する。

⑤補助金を支払う。

NET（外国語指導講師）配置の拡充により

「**生きた英語**」に出会う機会をふやします

これまでの英語で遊ぼうデイと英語シャワーデイを拡充し、公立保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校の子どもたちが、「生きた英語」に出会う機会を増やします。

体験活動の充実
(英語で遊ぼうデイ・英語シャワーデイの拡充)

	公立保育所・認定こども園・幼稚園	小学校	中学校
これまで	年1～2回実施 ◇NET 1名	5・6年生(各学級)で 年1回実施 ◇NET 2名	希望する学校で実施 ◇NET 2名
新年度から	年3回実施 ◇NET 1名	1～6年生(各学級)で 年1回実施 ◇NET 5名	希望する学校で実施 ◇NET 2名

公立保育所・公立認定こども園
公立幼稚園

小学校

中学校

英語で遊ぼうデイ

NETと一緒に英語を使って遊びます。

年3回に増やします



認定こども園茨木幼稚園での英語で遊ぼうデイ

英語シャワーデイ

体験型英語学習を小中学校で実施します。(茨木市版英語村)

子どもたちが主体的に体験する形で、小学校全学年(1～6年生)で実施します。

ショッピング
体験コーナー



ゲーム
体験コーナー



レストラン
体験コーナー



スポーツ
体験コーナー



英語で歌おう
コーナー



5名配置

授業も充実させます

		これまで	新年度から
小学校	1・2年	0時間 (学校裁量で実施可)	3時間 ◇うちNET3時間
	3・4年	0時間 (学校裁量で実施可)	年間35時間 (週1コマ) ◇うちNET15時間
	5・6年	年間35時間 (週1コマ) ◇うちNET10時間	年間70時間 (週1コマ+モジュール) ◇うちNET15時間
中学校 1～3年		年間140時間 (週4コマ) ◇うちNET35時間	年間140時間 (週4コマ) ◇うちNET35時間

小学校では、新年度より国の示す標準時間数より多く、外国語活動・外国語科の授業を行います。

2名配置

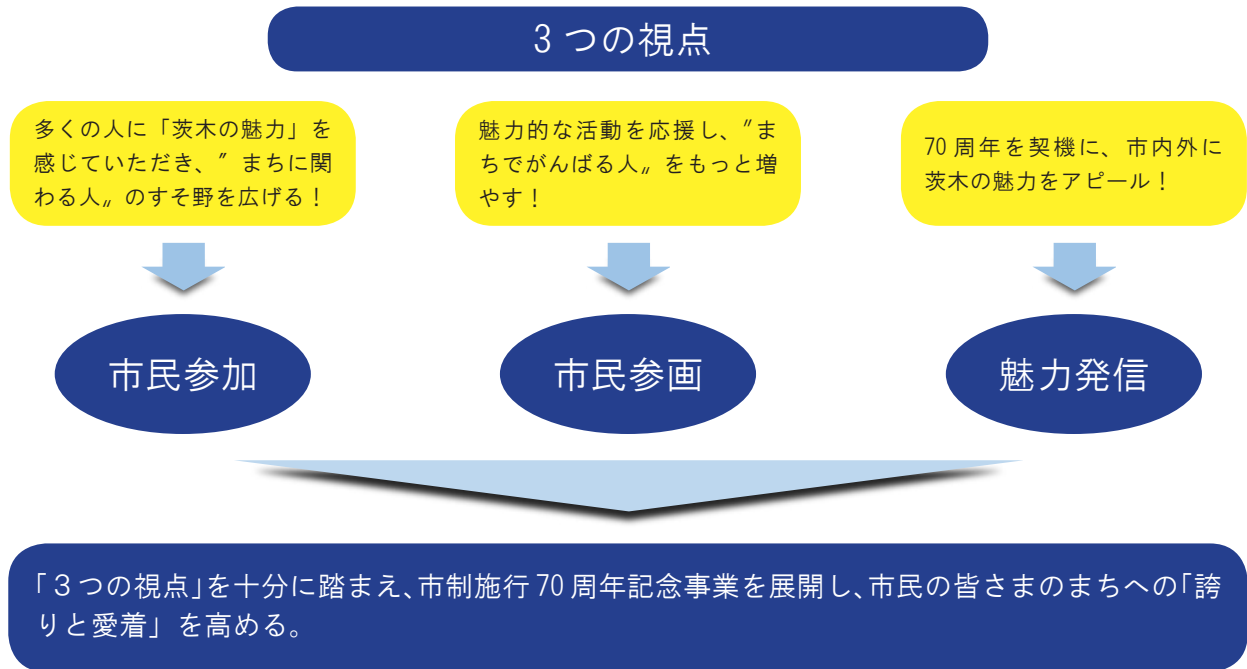


白川小学校での英語シャワーデイ

市制施行 70 周年記念事業について

概要

平成 30 年は、市制を施行して 70 年の節目を迎えるにあたり、これまで先人が築き、今日の姿へと発展してきた「ふるさと茨木」を知り、感じることで、市民の皆さまのまちへの「誇りと愛着」を高めるとともに、70 周年の意義と喜びを市民の皆さまと分かちあうこと、さらには、多くの人が本市の魅力を知り、興味を持つことで、わがまち茨木の「確かな未来」を目指す。（基本方針から一部抜粋）



市制施行 70 周年を好機にブランドメッセージ（ロゴ）の「認知度の向上」と「愛着心の醸成」を図る

主な事業内容

1 市制施行 70 周年記念式典の開催

市制施行 70 周年という節目を迎えるにあたり、本市発展のために貢献された方々への表彰をはじめ、「次なる茨木へ。」に向けたまちづくりを共感できる場として、「市制施行 70 周年記念式典」を開催する。

【開催日】

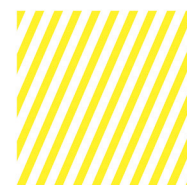
平成 30 年 11 月 3 日（祝）

【開催場所】

立命館いばらき OIC フューチャープラザ グランドホール



(60 周年記念式典の画像)



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

平成30年は市制施行70周年

2 (仮称) ブックフェスタ in 元茨木川緑地

豊かな生活の実現に向けて、「本」を介して「憩い」と「賑わい」を楽しむ場として、元茨木川緑地を活用した「(仮称)ブックフェスタ in 元茨木川緑地」を開催する。

【開催日】

平成 30 年 5 月下旬

【内容】

市内を中心とした飲食店の出店、「本の読み聞かせ」、「紙芝居」、「古本市」、「手づくり市（ブックカバー・しおり等）」など



3 川端康成青春文学賞の創設

ノーベル文学賞作家川端康成氏ゆかりのまちを PR するため、「川端康成青春文学賞」を創設し、全国から小説（ショートストーリー作品）を公募する。

【応募期間】

平成 30 年 2 月 1 日～6 月 30 日

【参考】

大賞作品（賞金 50 万円）は、(株)中央公論新社の月刊「中央公論」に掲載予定。

応募 平成 30 年 6 月 30 日まで
内容 400 字詰原稿用紙換算 10 枚～30 枚の小説
賞 大賞 50 万円、優秀賞 20 万円 ほか
大賞作品は、(株)中央公論新社の月刊「中央公論」に掲載。
選考委員
羽田圭介 (小説家)
津村記久子 (小説家)
大野裕之 (脚本家)

川端康成が学んだ教育のまち茨木が、文学賞を創設しました。
若い世代の応募を歓迎し、みずみずしい感性で青春を描いた物語を期待します。

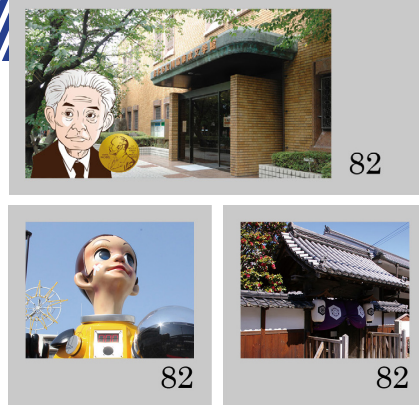
4 オリジナル記念切手の作成・販売

切手のコレクターだけでなく、手紙のやり取りを通じて本市の風景等の魅力を PR するため、記念切手シート「いばら Kitte」（1組 10 枚）を作成・販売する。

【参考】

作成枚数 1,000 シート

切手に使用する写真は市民から公募し、選考については、フェイスブックまたは、インスタグラムなどの SNS ツールを活用する。



(サンプル案)

5 未来のいばらきコンテストの実施

若い世代の郷土愛の醸成と地域の活性化につなげるため、将来の茨木を見据えた「若者らしい斬新かつ現実的な夢」を提案するコンテストを開催する。

【スケジュール (予定)】

6 月 出場者募集

7 月 出場者決定

11 月 決勝コンテスト

